

韓国中学校歴史クラブからの手紙（韓国慶尚北道で研修経験のある県職員がハングルを和訳したもの）

先生こんにちは。

私たちは韓国の咸平（ハムピョン）中学校に通っている3年生です。私たちは、学校で歴史クラブ（同好会）活動を行っていますが、最近残念な話を聞きました。

それは、日本の文部科学省が小学校と中学校で使用される学習指導要領を確定、公示したのですが、新しい学習指導要領で、日本政府は独島を日本の固有の領土だと表記したことです。日本政府がうその主張をしているだけでなく、学校で小学生と中学生に間違っただけの事実を教えるという話を聞き、私たちは大変心配しています。

独島は、私たちにとって心が痛む歴史の土地です。過去、日本が朝鮮半島を侵略する過程で、最初に奪い取られた土地です。

日本帝国主義が露日戦争（日露戦争）中に、戦争遂行を目的に編入し、一番最初に占領した土地が、この独島です。

日本が独島に対する権利を主張することは、日本帝国主義の侵略戦争により占領した土地の権利を主張するものです。

これは、まさに日本帝国主義の植民地の領土の権利に対する主張であり、韓国の独立を否定する行為です。

日本帝国主義の侵略戦争と虐殺、その上慰安婦を動員した犯罪の歴史の正当性を主張する行為だということです。

日本政府は近代以前にも独島が日本の領土だったと強引に主張していますが、これは事実とは異なります。

近代以前の多くの文書と地図では、日本政府が発刊した文書は地図でさえ、独島が韓国の領土であったことを証明しています。

これは、少し関心を持って資料を探してみれば簡単にわかる事実です。

私たちは日本に謝罪を要求するものではなく、その間、言葉で謝罪したことに対する行動を實踐してほしいと要求します。日本は帝国主義侵略史を正当化するのではなく、過去に対する正しい清算をしなければなりません。

先生方は独島と関連する歴史的事実をよく知らない日本の生徒たちに正しい歴史を教えてください。よろしくお願いいたします。

正しく、理にかなったことか判断をお願いします。日本政府が歪曲して主張していることだけを受け入れるのではなく、実際の歴史に近づく努力をしてください。

そして、事実の歴史を日本の生徒たちに教えてください。

韓国と日本の未来の世代である生徒たちが正しい歴史を学び、これを通して両国間の不幸な歴史を清算し、相互協力の明るい未来を開いていくことを私たちは希望しています。

これまで読んでいただきありがとうございました。先生のご健康とご多幸をお祈りします。ありがとうございました。

竹島教育批判の手紙、56中学校に 韓国の中学生名乗る

6/10(土) 9:32 配信

朝日新聞デジタル

韓国の中学生を名乗る人物から5月、竹島（島根県隠岐の島町）についての教育を批判する内容の手紙が島根県内の中学校56校に届いていたことが9日、分かった。県は国に報告する一方、引き続き国や県の見解に基づいた教育に取り組むよう各市町村教委に通知した。

県竹島対策室によると、差出人は韓国南西部・咸平（ハンピョン）の中学校の「歴史クラブ」に所属する3年生を名乗る人物で、3人の署名があった。松江、出雲、大田、浜田、益田市の市立中計56校の「地理教師」宛てに送られ、便箋（びんせん）3枚に英語と韓国語で竹島の領有権に関する主張をつづっていた。

日本の学習指導要領に触れ、「学校で小中学生に間違っただ歴史を教えていると聞いた。（竹島は）日本が朝鮮半島を侵略する過程で奪い取った土地で、先生方は日本の生徒たちに正しい歴史を教えていただくようお願いします」などと書かれていたという。

竹島の領有権は日韓ともに主張している。文部科学省は3月に告示した小中学校の新学習指導要領の社会科で、竹島を「固有の領土」と初めて明記した。

県は先月25日までに内閣官房と外務省、文科省に報告した。竹島対策室の南山尚理室長は「竹島は日本固有の領土。領土問題の解決に向けて、冷静かつ平和的に話し合うことが必要だ」と話した。（富岡万葉）

朝日新聞社